

「殺生石」物語考

物語の概略⑩

中国の殷を亡ぼし、天竺（インド）の耶褐国を傾け、そして再び、中国の周を危うくした白面金毛九尾狐の物語「絵本三国妖婦伝」も、本稿より、日本が舞台となる。

周の幽王の後褒姒は首を刎ねられたが、魂魄はその子伯服に受け継がれ、時節を待つこと千五百年、一人の美女と化し本朝に渡来する。奈良時代、聖武天皇の御代である。

天平七年のこと、靈龜二年（七十二）に入唐していた留学生吉備真備らが帰朝する、その遣唐使船に、一人の美女が潜り込む。吉備真備らは、若藻と名乗るこの美人を訝しく思いながらも、筑前の国、博多の津に伴う。しかし、若藻は下船すると、忽然として行方をくらます。これより後、三百数十年を経た平安時代、堀川天皇の御代から、物語は展開する。

京都の山科に蟄居し、過去の過ちの勅免（天皇の許し）を待つ坂部行綱という、元、北面の武士が、承徳二年（〇九八）、清水の観音詣の帰途泣く声聞いて、



藪陰に嬰兒を見つけ。嬰兒は、公卿方の公達の若気の過ちを物語るように、綾錦の布にくるまれていた。子のない行綱は、観世音が授けてくれたものと妻と共に喜び、我が子として大事に育てることにした。二人は七夜の祝いもし、名を藻と名付けた。その胤が誰とも知らないことから、根のない藻に比したのである。藻の美麗は成長するにつれて類無く、僅か七才にして行儀を正しくし、一を教えれば十を悟る利発さであった。藻は又、教えられもしない歌集を誦んじ、和歌を詠み、文学を好んだ。諸芸に秀でた彼女の才能は人々を驚かせ、行綱夫婦は心から藻を愛した。

筆者 前那須歴史探訪館 館長

齊藤 宏壽 先生（湯本在住）

今月のひとこと

菊まつり義経弁慶郷御前
判官鼯鼠の人形やさし

かつかう

『きびんかさざんか咲いたみち』立冬を迎え二十四節気では山茶花が咲き始める時期となり、今月9日から15日までの間は、秋の全国火災予防運動が実施される。たき火をする時は火災を起さぬよう十分注意してほしい▼町消防団がこのほど、防災功労者内閣総理大臣表彰を受けた。（本紙5頁参照）昨年5月に

町内で発生した大規模火災において、3日間延べ991名の消防団員が出動し、水利確保と消火活動を行い被害の軽減に努めた。周辺に水利がなかったため、約1km離れた河川からポンプをつないだり、最寄りの小学校のプールと現場を120回以上往復したり、活動は昼夜を問わず続けられたという▼地域の消防防災のリーダーとして住民の安全を守る消防団だが団員数は減少しており、なり手不足が懸念

されている。普段は本業の仕事を持ちながら訓練し、災害時には危険が伴う活動に従事する。広報・警戒活動も行い、地域の消防力・防災力の向上において重要な役割を担っている▼全国の取組みをみると、女性の入団が増加し防火訪問や防災教育で活躍しているほか、学生の若い力の参加が強く期待されている。『はいろいろかはいろいろよ』名誉ある表彰を機に、本町でも入団希望者が増えることを期待する。

こんにちは 赤ちゃん



大島 翔くん
（大島2）

平成30年 5月29日生

父 匡孝さん 母 由加さん

翔くんは…

5人兄弟の末っ子です。にぎやかな中で元気に成長しています！

「こんにちは赤ちゃん」コーナーの写真を随時募集しています。詳しくは総務課広報広聴係（☎72-6901）まで。

町の世帯と人口 ・世帯数 10,275世帯 (-13)
・人口 25,337人 (-32)
(10月1日現在・住民基本台帳)
()の数字は前月比 男12,567人(-19) 女12,770人(-13)

あなたの「声」を聞かせてください

地域の身近な情報や、広報「那須」の感想・ご意見をお待ちしています。お名前と連絡先とともに下記までお寄せください。